**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

研究開発課題名	革新的技術に裏打ちされた有効かつ安全な次世代アジュバント開発
代表機関名	国立大学法人東京大学
研究開発代表者名	石井 健
全研究開発期間	平成 29 年度～令和 3 年度

1. 研究開発成果

事後報告書(下 URL)参照

<https://www.amed.go.jp/content/000101250.pdf>

2. 総合評価

・ 優れている

【評価コメント】

有効かつ安全な次世代アジュバント開発を目指し、新規アジュバント探索と作用機序解析、食事、腸内細菌、代謝とアジュバント効果についての解析、霊長類を用いたアジュバントの解析、バイオインフォマティクス解析によるアジュバントの評価の各研究開発項目において、計画に従って順調な進捗を示した。また、多くのアウトリーチ活動を行うと共に、企業連携、導出検討が図られ、多くの成果を得ている。

今後、我が国のアジュバント研究の盤石な基盤技術開発を牽引するためにも、今回の実施体制のような研究機関との連携を維持し、継続することが望まれる。特に、改良してきたアジュバントデータベースが広く活用されると共に、新規アジュバント評価法の統合、さらには有効かつ安全な次世代アジュバント開発に資するガイドライン策定にも期待する。

以上